

『よさ、とりえ、輝く個性を伸ばし、笑顔あふれる学校』



長野中だより

学校教育目標

よく考え進んで学ぶ生徒
誠実で思いやりのある生徒
心身ともにたくましい生徒

平成29年5月1日発行 第2号 行田市立長野中学校 TEL 048-554-2240
ホームページアドレス <http://www.gyoda-naganochu.ed.jp/news/>

名にし負う長野中学校…『夢』に向けて全力で!!

校長 漆原 亮

小学校教育の現場からしばらくぶりに中学校の教育現場に戻り、あらためて『進路』が中学生の大きな関門の一つであると再認識しています。中学校3カ年の間に、生徒一人一人が、将来を見据え、自分の特長を活かし、どのように社会に貢献していくか、明確でなくとも道筋をつけながら取り組んでいくことが望まれてきます。

寄らば大樹と思われていた企業が窮地に追い込まれているといった報道を聞いたり、また、人工知能によって今後姿を消す職業がリストアップ(オックスフォード大学マイケル・A・オズボーン准教授)されたり、と単に上級学校へ進めばある程度安泰である、といった時代ではなくなる気配を感じます。

そうした中、10代で、棋界の泰斗を破ったり、世界ランキング1位の卓球選手に勝ちチャンピオンになったり、日本選手権競泳で5冠を収めたり、7大陸最高峰登頂に成功したり、等々、目を見張る活躍を見せる若者も少なくありません。



入学式・始業式の様子

折しも、4月24日、新聞を開くと全面広告が目にとまりました。それは、今春中学校受験に合格した有名な子役を起用したものでした。そしてそこにはシンプルに、「天才はいない。」のキャッチコピーが…。

言い換えれば、「努力に勝る天才なし。」ということだと思えますが、やはりこのことは、いつの世でも変わらぬ不易なもの、本質に他ならないと考えられます。

ところで、進路選択にあたっては「どんな夢を叶えるか」がそのスタートになってきます。『夢』『希望』を、まず見つけて、その実現に向けて頑張っていってほしいと思います。『夢』の実現にあたってはウォルトディズニーの4つのCが参考になります。



私は、夢を実現させる秘訣を知っている人が越せない壁があるとは信じられない。私が思う夢の実現の秘訣は4つのCによって言い表すことができる。

Curiosity (好奇心)、**Confidence** (自信)、**Courage** (勇気)、**Constancy** (一度決心したことを続ける一貫性)。中でも一番大切なのが自信だ。一度こうだと決めたら、一片の疑いもなく、それに没頭することだ。

長中生一人一人が、自分の『夢』『希望』の実現に向けて適切な目標を立て、生き生きと、そして一心不乱に取り組み、“笑顔の花”にあふれた学校にしていきましょう。“名にし負う長野中学校”の誇りを胸に、中学生時代を輝かせていきましょう。

5月行事予定

5/2	火	部活動保護者会、PTA評議員会
3	水	祝・憲法記念日
4	木	祝・みどりの日
5	金	祝・こどもの日
6	土	
7	日	
9	火	テニス(硬式)個人
10	水	テニス(硬式)団体、内科検診
12	金	PTA総会、歓送迎会
16	火	安全の日
17	水	専門委員会
18	木	歯科健診、まきば園訪問
19	金	テスト前部活動中止
22	月	1学期中間テスト、教育実習(~6/9)
23	火	全校朝会
24	水	1, 2年校外学習
26	金	北埼玉地区通信陸上大会
27	土	小学校運動会
29	月	眼科検診
31	水	特別支援教育課訪問
6/1	木	内科検診
2	金	修学旅行説明会(3年)

新入生歓迎会 開催される



4月19日(水)、生徒会主催による「新入生歓迎会」が開催されました。

新入生はアーチで迎えられ、上級生の温かい思いを実感することができました。

部活動紹介では、本番さながらのプレーに圧倒されるとともに、上級生のマナーのよさが印象的でした。

1年生も本入部となって、上級生からよいところをどんどん吸収し、一回りも、二回りも成長して欲しいと思います。

学力向上のために

埼玉県学力学習状況調査結果

からわかったこと

今年度も、4月13日に埼玉県学力・学習状況調査が、また、4月18日に全国学力・学習状況調査が実施されました。その結果が夏過ぎにわかることと思います。

ところで、埼玉県教育委員会によると、昨年度実施した調査結果を分析したところ、学力について次のことが明らかになったとのことです。

① 学力を伸ばすには、『主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)』が大切である。

② 「苦手でも頑張ろう」、「最後までやり抜こう」といった気持ちを通して伸びる。

非認知能力(特に自己効力感)と学力は正の相関関係がある。

* 非認知能力とは、意欲や姿勢などIQなどのように数値化されない能力のこと。児童生徒質問紙では「自制心」、「自己効力感」、「勤勉性」を計測するための質問を出題している。

・ 自制心・・・自分の意思で感情や欲望をコントロールすることができる力

・ 自己効力感・・・自分はそれが実行できるという期待や自信

・ 勤勉性・・・勉強などに一心に励むことができる力

この研究結果が示唆することとして以下の3点が挙げられています。

① アクティブ・ラーニングをやることで学力が向上する。

② 非認知能力にプラスになる教材研究を進める。

③ 子供のやる気、乗り越えさせる力を高めていく。

このことについては学校の授業を中心とした学習の中で取り組んでいくとともに、『やる気』、『乗り越えさせる力』等はふだんの家庭生活の中でも心がけて取り組んでいくことで成果につながっていくと考えられます。ぜひ、そうした視点を持って生活していくようご協力お願いいたします。